

▼ 快調なスタートを切った専大勢＝撮影・鷲尾

▼ 予選突破を喜ぶ部員たち＝撮影・森本

専大スポーツ

No.332

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています



箱根駅伝 3年ぶり68回目

挑む シールド権獲得

7位で予選突破

10月19日、国営昭和記念公園で行われた第90回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会で、専大は7位(合計タイム10時間9分56秒)でフィニッシュし、3年ぶり68回目の出場を決めた。

2年連続で悔し涙を飲み、今年は何んとしても箱根の舞台に立ちたいという強い気持ちで予選会に臨んだ専大。その気持ちが行き届いた表れ、序盤から先頭集団に入る好スタートを切り、10km地点を6位で通過した。

伊藤国光監督の「最後まで5キロに余裕を残す」という指示通りの走りを見せた斉藤翔太(商3・一関学院高)が中盤で飛び出し、チームトップの個人総合22位。その後も吉良充人(経済3・佐久長聖高)が33位、芝田俊作(経営3・報徳学園高)が38位と続き、10人が1時間1分台でゴールする好成績で「箱根」の挑戦

権を勝ち取った。

就任2年目で箱根駅伝出場を決めた伊藤監督は「エントリーした選手が与えられた自分の仕事をきっちりこなし、シミュレーション通りのレースができた。箱根でも専大らしい走りを見せたい」と

と、満足いくレース展開に納得の表情。

宮坂俊輔主将(文4・佐久長聖高)は「メンバー全員が一体となったことが結果につながった。またスタートラインに立った。箱根ではシールド権獲得が目標です」と

抱負を語った。

チームをけん引した斉藤は「とにかく4年次生を箱根に連れて行くという気持ちで走った。箱根では5区の出場を走りたい」と闘志を燃やした。(湯澤時生・人間科学2)

卓球・鈴木、サッカー・長澤、下田、北爪、仲川

5人に川島記念特別功労賞



▲ 受賞した5人(左から下田、長澤主将、鈴木、北爪、仲川)

7月に行われたユニバーシアード競技大会(ロシア・カザン)に日本代表として出場し、メダルを獲得した5人に川島記念特別功労賞が贈られた。授与式は10月23日、神田キャンパスで行われ、日高義博理事長(川島記念会会長)から賞状が、矢野建一学長から記念メダルが授与された。

表彰されたのは、卓球の女子団体とミックスダブルスの2種目で金メダルを獲得した鈴木李茄

(商1・青森山田高)と、サッカーで銅メダルを獲得した長澤和輝主将(経営4・八千代高)、下田北斗(人間科学4・清水水高)、北爪健吾(3・前橋育英高)、仲川輝人(商3・日体荏原高)。

鈴木は「このような名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。今後は活躍できるように頑張ります」とあいさつした。

10月5日には、卓球部OB会主催の祝賀会が神田キャンパスで開催され、両国国技館で、ボクシング部OBの王者・山中さんKOで5度目の防衛

WBCバンタム級タイトルマッチ(11月10日、両国国技館)で、ボクシング部OBの王者・山中さんKOで5度目の防衛を飾った。

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

サッカー! 関東大学リーグ戦3連覇

関東大学サッカーリーグ戦の第20節(11月9日、江戸川陸上競技場)は、専大は長澤和輝主将、仲川輝人がともに2ゴールを挙げ、桐蔭横浜大に4-0(前半2-0)で快勝。

14勝3敗3分・勝ち点45で、2位の早稲田大に勝ち、リーグ戦3連覇は92、94年の筑波大以来、残し、リーグ3連覇を達成した。

リーグ戦3連覇は92、94年の筑波大以来、残し、リーグ3連覇を達成した。

リーグ戦3連覇は92、94年の筑波大以来、残し、リーグ3連覇を達成した。

リーグ戦3連覇は92、94年の筑波大以来、残し、リーグ3連覇を達成した。

スピードスケートの全日本距離別選手権が10月25日から27日まで、長野市エムウェーブで行われた。シーズンの幕開けとなる今大会で、近藤太郎(経営1・駒澤大附小)が5位となるなど、専大勢が目覚ましい活躍をみせた。



▲ 好成績を残した小川＝山口浩二氏提供



▲ 笑顔の平井(左)・山田

平井は「みんなへの感謝の気持ちを持って戦った。チームの支えがあった」と、山田は「応援に駆けつけてくれた方々のおかげで、逆転勝利。決勝では田中・市丸組(法大)に1-2で惜敗した。

平井亜紀(商4・高松商)と山田真央(文4・高松商)組が準優勝、浦谷夏未(商3・尚志)と篠田未来(文3・高松商)組が3位。

平井亜紀(商4・高松商)と山田真央(文4・高松商)組が準優勝、浦谷夏未(商3・尚志)と篠田未来(文3・高松商)組が3位。

平井は「みんなへの感謝の気持ちを持って戦った。チームの支えがあった」と、山田は「応援に駆けつけてくれた方々のおかげで、逆転勝利。決勝では田中・市丸組(法大)に1-2で惜敗した。

専大勢が大活躍

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に

スピードスケートの全日本距離別選手権(11月8、9、10日、カナダ・カルガリ)の第1戦(11月8日)は、15000m級2位の近藤はW杯代表に